



オフィス®
宅ふあいる便

脱PPAPに最適解 オフィス宅ふあいる便の解説

Daigas
Group

 オージス総研



目次

PPAPの危険性とは？	2
PPAPで発生しうる問題①	3
PPAPで発生しうる問題②	4
PPAPで発生しうる問題③	5
その他にも気を付けたい身近な誤送信	6
オフィス宅ふあいる便で「PPAP対策」を	7
オフィス宅ふあいる便の特長①	8
オフィス宅ふあいる便の特長②	9
オフィス宅ふあいる便の特長③	10
オフィス宅ふあいる便の特長④	11
オフィス宅ふあいる便で手間をかけずに安心して送信	12
オフィス宅ふあいる便の情報漏洩リスク対策	13

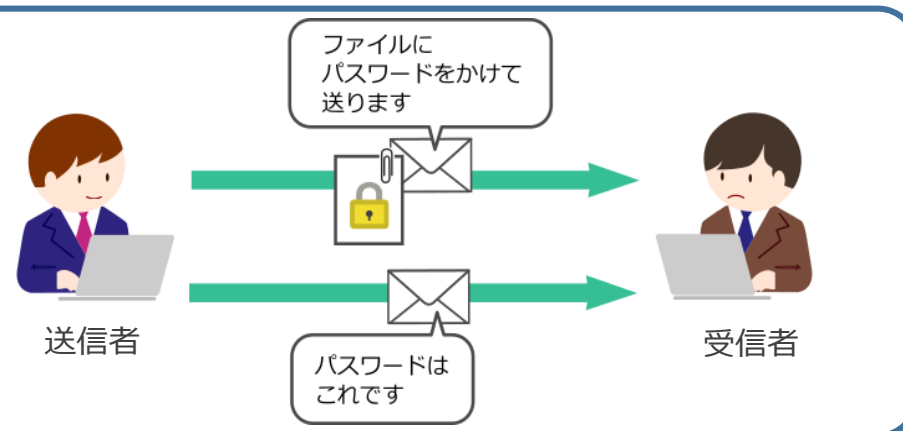


PPAPの危険性とは？

？ そもそも「PPAP」って何？

PPAPとは、パスワード付きzip形式の添付ファイルと、暗号化解除用のパスワードをメールで送信すること
下記の頭文字をとってPPAPと略称されています

- P** assword付きzip暗号化ファイルを送ります
- P** asswordを送ります
- A** (あ)ん号化 (暗号化) します
- P** rotocol (プロトコル=手順)



PPAPで発生しうる問題

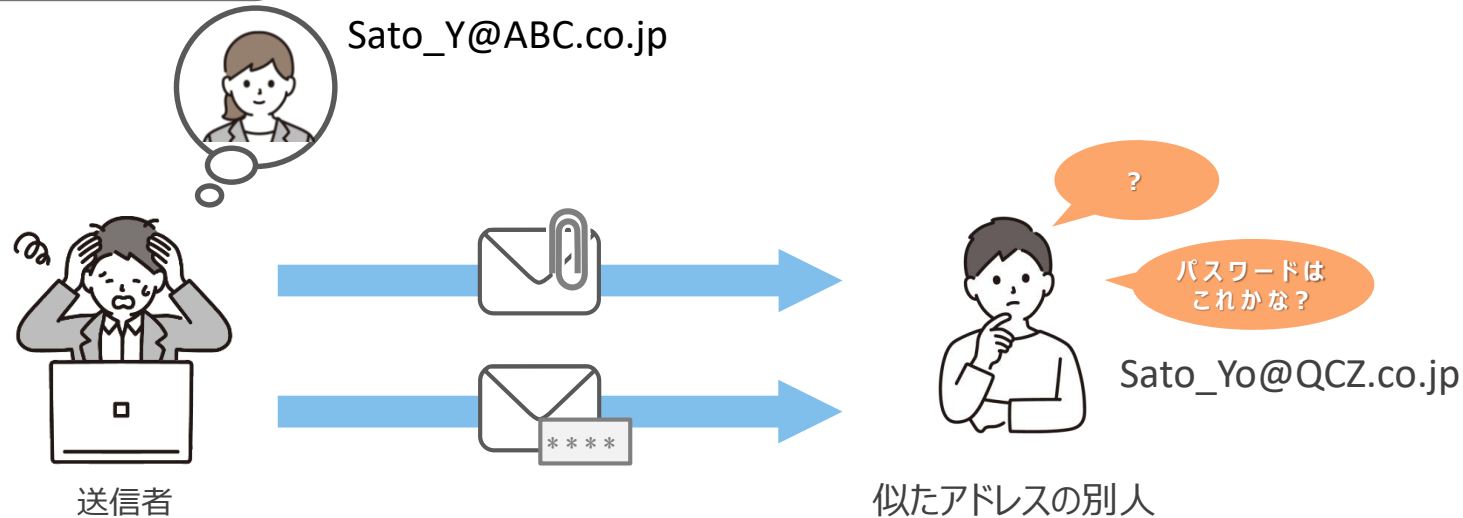
- ① 送信先アドレスの指定ミスなどで発生する誤送信
- ② 悪意のある第三者による盗聴(添付ファイル・パスワード)
- ③ 添付ファイルの暗号化によりウイルス感染が検知できず受信者に送信されてしまう

上記のような問題があることから、近年は「PPAP」を禁止する企業が増加している



PPAPで発生しうる問題①

! 誤送信のリスク管理が困難



メーラーのオートコンプリート機能を利用した送信先の指定や、過去に受信したメールからアドレスをコピーする際など、「**忙しさに差し迫られ、つい選択をミスしてしまった**」といった誤送信事例をよく耳にします

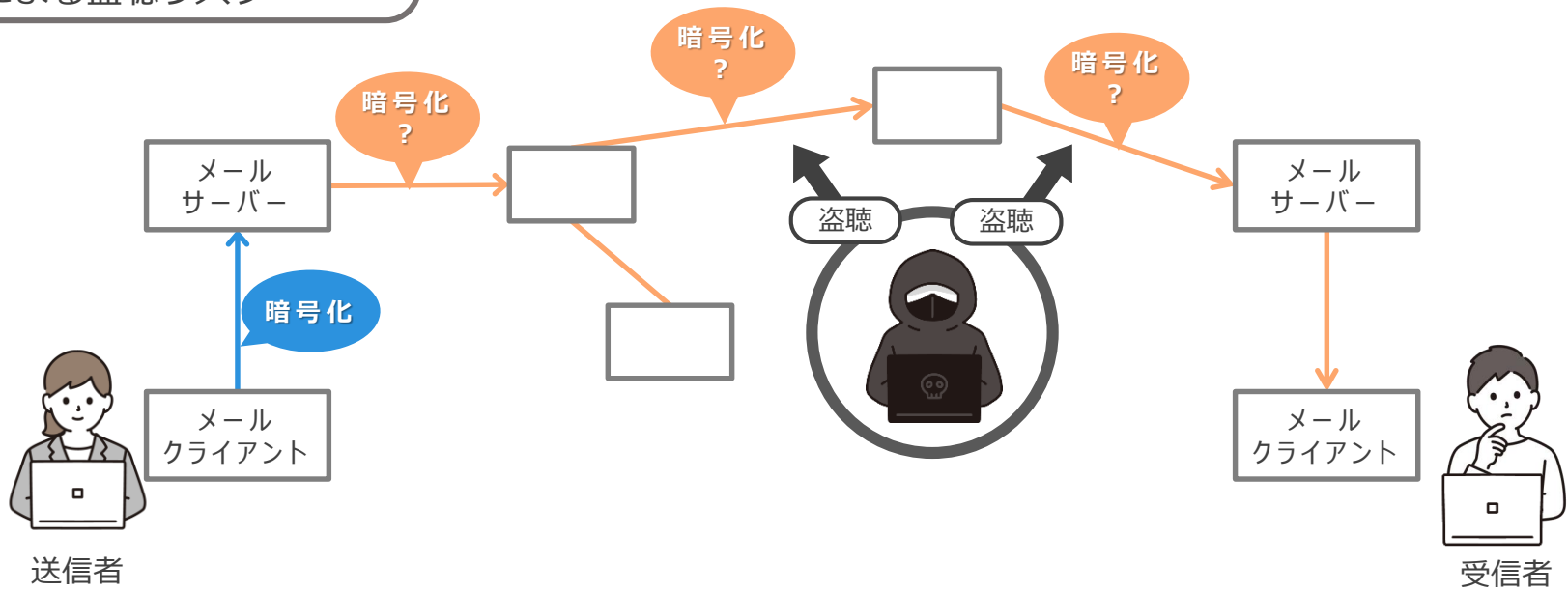
暗号化解除パスワード送信する前に誤送信に気づけたとしても、**添付ファイルが意図しない相手に渡ってしまった**場合、パスワードや暗号化そのものが解析されるリスクを考慮すると、その時点で情報漏洩が発生したと言っても過言ではありません

**仮に誤送信した相手が顔見知りの取引先だった場合でも、
このようなミスから企業としての信頼を失いかねないことも忘れてはならない**



PPAPで発生しうる問題②

！ 第三者による盗聴リスク



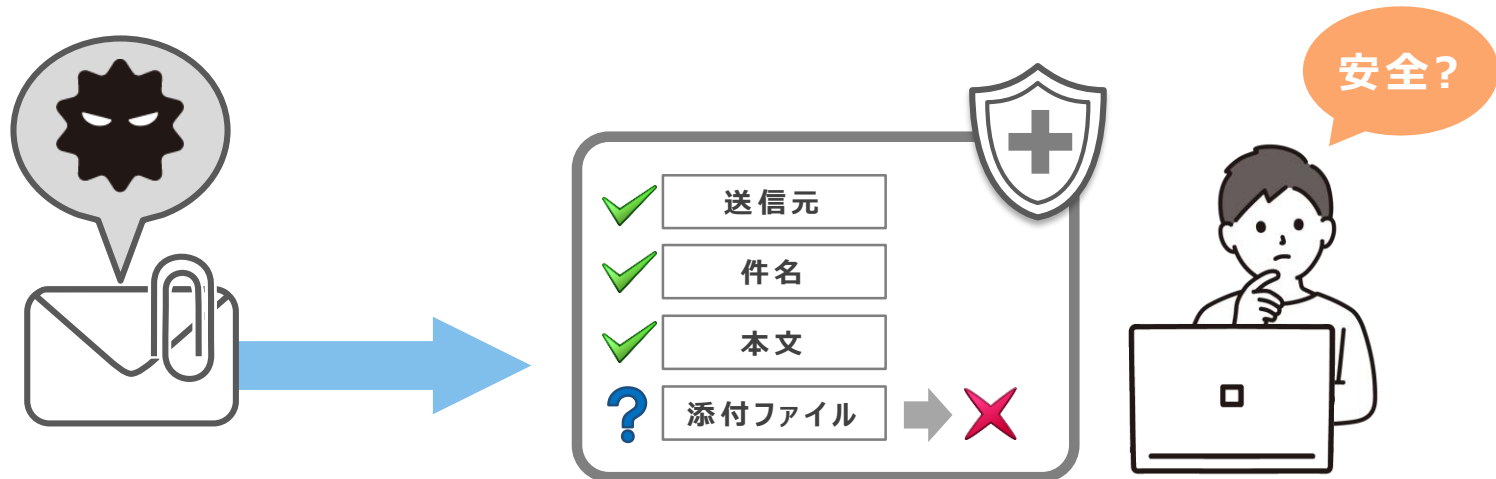
自社のメール送受信に関わる通信経路が暗号化されていても、メールが受信者に届くまでの経路が通信が暗号化されているかはわかりません。
暗号化されていない通信経路を狙った盗聴事故は年々増えており、事実、**10通に1通は暗号化されず盗聴されるリスクにある**調査報告が公開されています。

<参考> 日経XTECH 「10通に1通が「盗聴」されるリスク、メールの危険な現状が明らかに」
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02079/052000001/>



PPAPで発生しうる問題③

！ ウイルス・マルウェア感染リスク

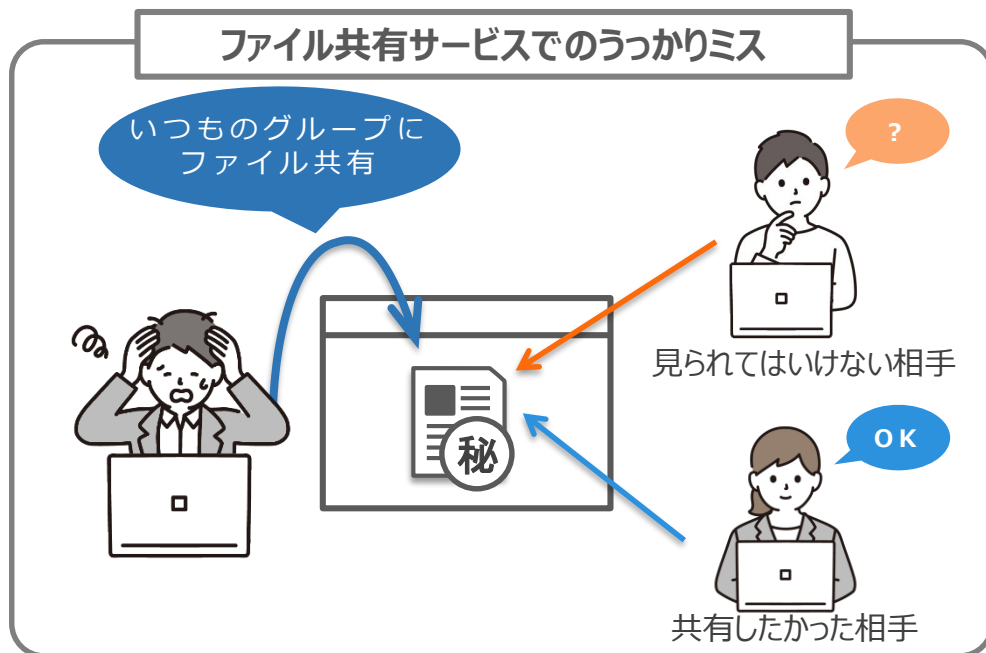


暗号化されたZipファイルがメールに添付されてる状態では、パソコンのウイルス対策ソフトは中身のチェックが行えません。ローカルフォルダ等に保存し、暗号化解除した時点で初めてチェックされる対象になりますが、その時点で感染する恐れがあります。
昨今に標的型攻撃は、**普段の業務メールを装いマルウェア付きの添付ファイルをパスワード付きZipで暗号化している例**も増えており、警戒する対象として危険視されています



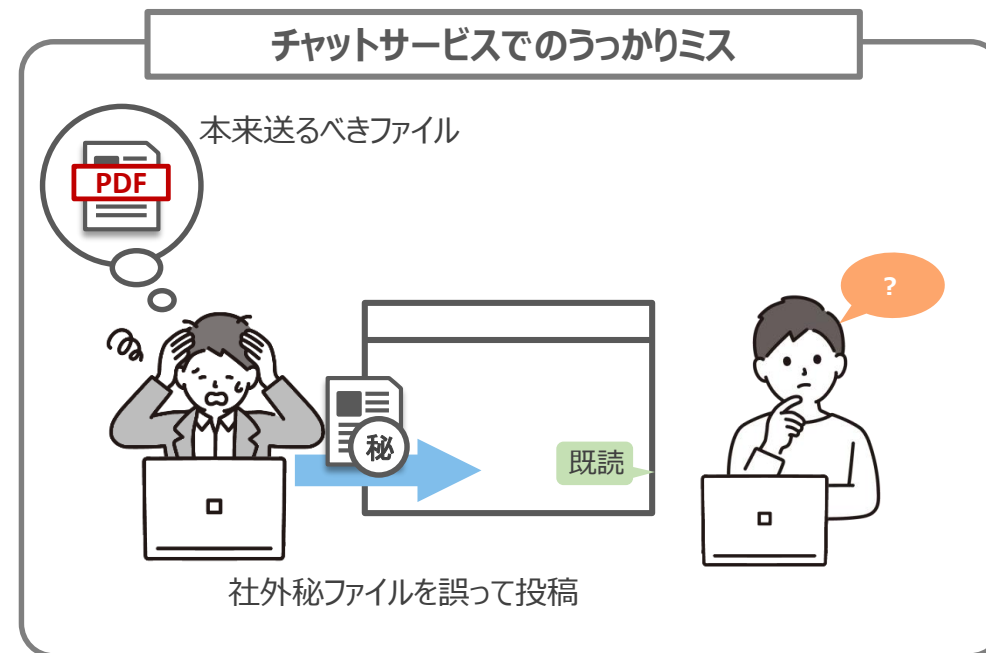
その他にも気を付けたい身近な誤送信

ファイル共有サービスでのうっかりミス



ファイル共有サービスでは、普段よく共有しているグループと油断して、**グループ内に見られてはいけない人が居ることに気づかず、うっかり共有**してしまうなどの事故が発生しがちです。

チャットサービスでのうっかりミス



チャットサービスでは、**本来見られてはならないファイルをうっかり投稿してしまうなどのミス**が発生します。リアルタイム性の高いチャットでは会話の流れですぐに相手にファイルを開かれてしまう為、取返しのつかない事態に。

その便利さ、効率性がゆえにうっかりミスが発生しやすい特性がありますが、これも立派な誤送信となります。



オフィス宅ふぁいる便で「PPAP対策」を



オフィス宅ふぁいる便®

4つの特長

メールを利用しないファイル送信

ファイル送信はブラウザ経由で送信し、経路を暗号化して送信します。
(最長256bitのSSL/TSL暗号化通信)
パスワードは別経路で連絡できます。

この資料にご興味をお持ちいただけましたら、是非ダウンロードをお申し込みください。

一度お申し込みいただくと、オフィス宅ふぁいる便に関連したすべての掲載資料をダウンロードいただけます。

多重の誤送信対策

承認機能など4つのチェック機能により、誤送信を抑制します。送信後、間違いに気づいた場合も相手が受信する前にファイル送信を取り消すことが可能です。

P9

送信ファイルのウイルスチェック

送信ファイルはしっかりとウイルスチェックをお届けします。受信者は安心して受け取ることができます。

パスワード解析対策

アクセスに必要なパスワードに対する攻撃が発生しても、間違ったパスワードが10回以上発生すると、アクセスが

P11

お申し込み